

清沢満之全集

別巻（全2冊）

別巻Ⅰ

大谷大学 編

全集完結後に発見された
重要資料を多数収録

明治期の日本、近代化の潮流のただなかにあって、仏教の危機的状況に敢然と立ち向った思想家、清沢満之（一八六三—一九〇三）。厳格な哲学的思考と類まれな求道的実践とによって、仏教の縁起論を有限・無限の関係として構想し、親鸞の他力門の信念を基礎づけた哲学者であり、明治精神界に大きな影響を与えた。

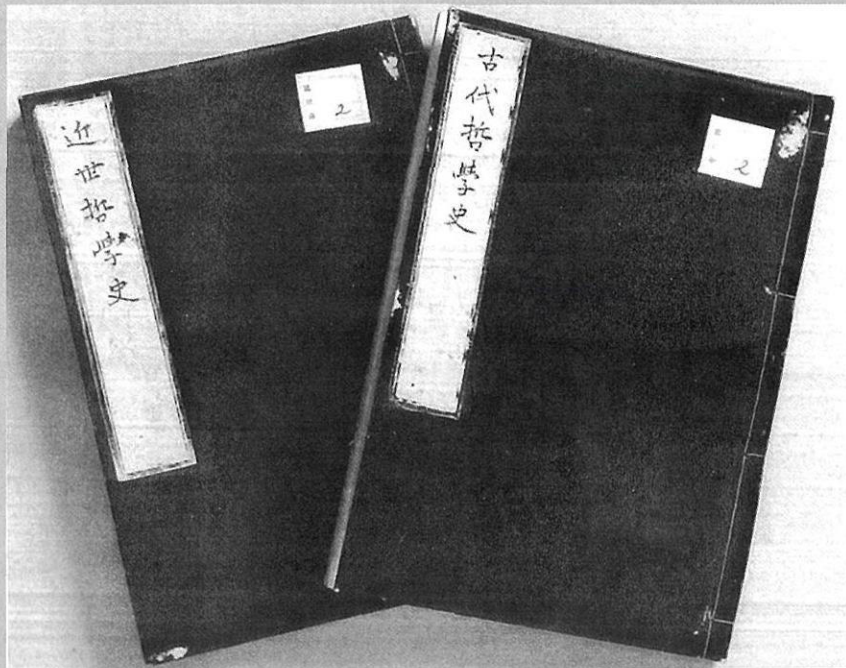
没後一〇〇年を期して刊行された『清沢満之全集』（全九巻、二〇〇二—〇三年）の完結から一七年、新たに清沢の著述と認められた文献、講義録、新出書簡等を、別巻二冊に収録する。

別巻Ⅰ
2020年3月27日発売
A5上製函入 予440頁
定価＝本体6,600円＋税
ISBN 978-4-00-092619-5
※別巻Ⅱは2021年3月刊行予定

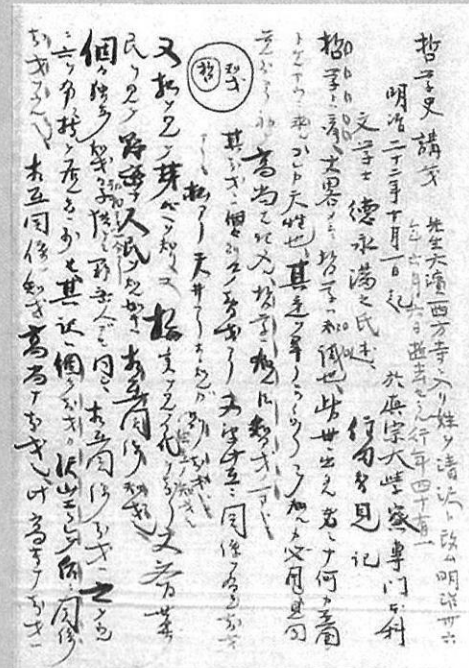
〒101-8002 千代田区一橋2-5-5
TEL 03-5210-4000（代表）
website <https://www.iwanami.co.jp/>

岩波書店





▲徳永（清沢）満之述「古代哲学史」「近世哲学史」（住田智見筆録）表紙



▲徳永（清沢）満之述「古代哲学史」（住田智見筆録）45丁表

■別巻Ⅰには、名古屋市祐誓寺に保存されていた、清沢満之の講義録「古代哲学史」「中古哲学史」「近世哲学史」を収める。清沢満之が真宗大学寮専門本科にて三学年にわたって講義した哲学史の内容を、住田智見が詳細に筆録したものであり、明治22年10月～23年6月、23年9月～24年1月、24年2月～25年6月の3つの講義録からなる。

■清沢満之は、明治20年に東京帝国大学文学部哲学科を卒業、明治21年、25歳の時、東本願寺の要請で京都府立尋常中学校長に就任。校長として勤務しつつ、京都高倉にあった真宗大学寮において、西洋哲学史の講義を行っていたことが記録されている。清沢満之は、どのように西洋哲学史を受容していたのか。講義録は、その宗教哲学の形成を理解する上での最重要資料である。

■別巻Ⅱには、「心理学講義」「論理学講義」などの講義録、全集未収録の論文、新出書簡などを収録。2021年3月刊行予定。

別巻Ⅰ 目次

哲学史講義

Ⅰ 古代哲学史

明治22年10月から明治23年6月にかけて行われた講義。タレス、ソクラテスから、プラトン、ストア学派など、ギリシア哲学を中心に講述されている。

Ⅱ 中古哲学史

明治23年9月から明治24年1月にかけて行われた講義。キリスト教をはじめとする宗教哲学から、ルネッサンス期の思想までが講述されている。

Ⅲ 近世哲学史

明治24年2月から明治25年6月にかけて行われた講義。デカルト、スピノザから、カント哲学、ヘーゲル哲学を経て、スペンサー哲学までが講述されている。

注
解題

注文書 (FAX 03-5210-4117 岩波書店 営業部)

ご注文は、岩波書店営業部まで直接、またはお近くの御便利な小売書店でお申込み下さい

注文内容 清沢満之全集 別巻Ⅰ () 冊
ISBN978-4-00-092619-5

お名前

ご住所 (郵便番号)

お電話番号

お申込み書店 (帳合・番線)